

「JFAこころのプロジェクト」遠野わらすっこ「夢の教室」始まる

夢や目標があるから、 どんな困難も乗り越えられる

「サッカー選手になりたい」
「病気を治すお医者さんになりたい」
遠野北小（中浜艶子校長、児童388人）6年1組の児童たちは、夢シートに自分の夢と、実現のために努力すべきことを書き込んだ。みんなの前で自分の夢を発表した児童に、周りのみんなは夢の実現のためにどんな協力ができるのかという意見を出し合った。

この日、児童たちの先生を務めたのは、「やっちゃん先生」こと元Jリーガーの安永聡太郎さんと、「ハワイ先生」こと元サッカー女子日本代表の川上直子さん。二人の先生とともに体育館でチームプレーを学ぶミニゲームを行った後は、やっちゃん先生が教壇に立ち、プロのサッカー選手を夢見てひたむきに頑張った日々や、夢を達成した後に、次の夢や目標を見つけることができなかった挫折の日々を振り返り、夢や目標を持つことの大切さを語り掛けた。

日本サッカー協会（JFA）と本市は9月1日、JFAが取り組むスポーツ選手への派遣授業「こころのプロジェクト」の実施について5年間の事業を締結。今後、市内の全小学校で、夢を持つことの大切さを学ぶ「夢の教室」を実施する。



1川上直子さん(左)、安永聡太郎さん(右)と楽しみながらチームプレーを学んだゲームの時間 2安永さんの授業に聞き入る児童たち 3事業締結式で固い握手を交わすJFAの川淵三郎キャプテン(左から2人目)と本田敏秋市長(左から3人目)ら 4自身の体験を踏まえ、夢について熱く語る安永さん

【特集】 職人の挑戦

5人の大工職人が、
今、愛知県大府市の
かやぶき屋根の改修に
挑んでいる。
伝統の技術を受け継ぐ
職人たちの姿を追う



愛知県大府市の大工組合「有司組」の5名が、かやぶき屋根の改修に挑んでいる。左から、川淵三郎さん、本田敏秋市長、川上直子さん、安永聡太郎さん、川淵三郎さん。



夢の教室とは…現役やOB・OGのプロスポーツ選手が「夢先生」になり、小学生に夢や仲間と協力する大切さなどを伝える。

インタビュー



頑張れば、
乗り越えられる
おがわ なみ
小川奈海さん
(遠野北小6年)

夢は薬剤師になって、みんなに役立つ薬を作ることです。今日の授業で、夢に向かって頑張れば乗り越えられる気持ちになりました。



苦勞を乗り越え、
夢はかなう
おしま ひろ ぎ
小島大樹君
(遠野北小6年)

夢はプロ野球選手。そのために、練習だけでなく生活面もしっかりしたいです。やっちゃん先生の話から、苦勞を乗り越えながら夢をかなえる姿が勉強になりました。